

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)EXC千葉弁天II計画 新築工	階数	地上14F
建設地	千葉県千葉市中央区弁天1丁目5-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2021年11月10日
敷地面積	1,143㎡	作成者	新日本建設株式会社
建築面積	620㎡	確認日	2021年11月10日
延床面積	6,591㎡	確認者	新日本建設株式会社

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 千葉都心に相応しい共用部 圧迫感を減らした高級感と雰囲気高める緑地を配置 建物形状は商業地域を最大限生かした高層としシンメトリーなデザインとした 利便性を高める棟内にカーシェアリングを採用		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 専有部分について、T-2サッシを採用し、断熱等性能等級4としている。また、F★★★★の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、階高にゆとりを持たせるなど、建物のサービス性能の向上に努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 標準的な配慮を行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱等性能等級4、建物全体のBEI=0.93としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS下地やノンフロンの断熱材を採用するなど、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率82%とし、光害抑制にも配慮した設計としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される